



2020年10月20日

報道関係各位

## 飯田 OIDE 長姫高校 お城下町地区におけるフィールドワークについて

秋冷の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、松本大学は、高大連携事業として、県内の各高校を対象として地域づくりに関する学習活動の支援を行なっています。今回は、お城下町街づくり協議会の協力の下、10月21日に飯田 OIDE 長姫高校1年生の高校生がお城下町地域（縄手、緑町、上土）周辺にて地域づくりのフィールドワークを実施します。飯田 OIDE 長姫高校は、松本大学および飯田市と連携協定を結び、若者の地域への定着を目指す地域人教育を実施しております。

その一環として1年生が松本市街地において別紙のとおりフィールドワークを行ないます。飯田 OIDE 長姫高校においては、このフィールドワークが毎年実施されていますが、今年はコロナの感染防止を徹底して例年とは異なる形での実施となっております。

またフィールドワークの成果については、後日四柱神社えびす講や大手公民館にて展示する予定です。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、取材方よろしくお願いたします。

敬具

記

日 時： 2020年10月21日（水） 午前10時～13時30分

場 所： お城下町地域

なお10時と11時にそれぞれ2組に分かれて日本銀行の東側周辺にバスが到着し、その後各自出発する予定です。

参加者： 飯田 OIDE 長姫高校生 79名 教職員

内 容： 添付のとおり

その他： 実施に際してはお城下町の関係者には添付のような文書（参考資料）にて依頼をさせて頂いています。

以上



## 地域人教育 松本フィールドワーク

- 1 日 時 10月21日(水) 7:30~16:30 (クラスによって時間が変動)
- 2 場 所 松本市 お城下町地域
- 3 対象生徒 商業科1年生 79名 当日不参加者は校内で調べ学習を行う
- 4 移動手段 借り上げバス2台(日本旅行)
- 5 目 標

地域の理解を深め、郷土愛を育み、地域活性化や地域社会に貢献できる人材を育成する。

- 6 目 的

まちあるきを通して自ら地域の魅力や課題を自分自身で発見する。また、地域で自ら発見した課題を解決するために、魅力を活用した地域での具体的なアイデアを提案する。そのことにより、協調性や多様性を実体験の中で育む。

- 7 行 程

内容	F 組	G 組
学校集合	7:45	8:45
学校発	8:00	9:00
松本着	10:00	11:00
フィールドワーク	10:10~12:30	11:10~13:30
松本発	13:00	14:00
学校着(予定)	15:20	16:20

- 8 方 法

### フィールドワーク

- ①事前学習をもとにまちを歩き、まちの写真撮影や商店の方へのインタビューを行う。
- ②松本市お城下町地区の面白いもの(食べ物・商品・景色・人・建物・道・歴史等)を一人5つずつ見つけ、まちあるき宝探し報告シートに記入。
- ③松本市お城下町地区の困ったもの(食べ物・商品・景色・人・建物・道・歴史等)を一人5つずつ見つけ、まちあるき困ったもの報告シートに記入。

### まとめ(事後学習)

- ①フィールドワークで調査してきたものをもとに、「飯田の高校生から見た松本のまち」(仮)をまとめる。
  - ②まち歩き宝探し報告シートより、KJ法を用いてまとめる。
  - ③11月2日に各班5分程度で発表を行う。四柱神社での展示用作品を作成する。
- <目標>: 飯田の高校生から見た地域の良さを活かすアイデアや、松本を訪れた観光客へ紹介したいものを考える。



【参考資料】

関係各位

飯田 OIDE 長姫高校のフィールドワークについて

松本大学 総合経営学部  
観光ホスピタリティ学科  
学科長 白戸 洋

秋冷の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて松本大学は、飯田市及び飯田 OIDE 長姫高校と連携して、若者を地元に着させることを目的とした教育プログラム「地域人教育」を10年以上取り組んでおります。「地域人教育」の一環として、毎年1年次に松本市街地においてフィールドワークを実施し、地元の関係者の方々には多大なご協力を頂いております。

本年度は、コロナ禍によりこれまでフィールドワークの実施を見合わせてきておりました。しかし、生徒や高校職員から強い要望があり、コロナ感染の防止に万全を図りつつ例年とは異なる方法で実施することになりました。コロナの感染防止の観点から、店内での食事や毎年行ってきた通行人へのインタビューを避け、自由に歩くという形から三密を避けるために決められたコースを歩くという形にしております。また住民の方々をお願いしてきた地域の説明やグループワークの発表も行わない予定です。

本年度は、写真を撮影したり、お土産を探すなどの形で街の魅力をみつけるという趣旨で行います。食事についてもテイクアウトなどによって外での食事をとる予定です。

したがいましてお店などには生徒がお邪魔し買い物などをさせて頂き多少の会話等もあるかと思いますが、感染防止を徹底させていただきますのでよろしくお願いいたします。

またいろいろな事情から高校生の入店等を避けなければいけない場合もあることについては生徒にも事前に理解させておりますので遠慮なくその旨生徒にお話しいただいても結構です。

以上を踏まえて本年度は、以下の内容でフィールドワークを実施させていただく予定なのでよろしくお願いいたします。なおフィールドワークの成果については四柱神社のえびす講において展示発表を行う予定です。

記

日時 10月21日(水) 10時～13時30分 A組 10時～12時半 B組 11時～13時半

感染予防の観点から2クラスの時間をずらして実施します

場所 上土・緑町・縄手 周辺も含む

参加者 飯田 OIDE 長姫高校 1年生 80名 教員 3名 大学関係者

連絡先 松本大学 白戸研究室 0263-48-7200(代)

以上

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



【実施概要】

- ① 日時            10月21日(水)  
                    A組    午前10時～午後0時30分            B組 午前11時～午後1時30分
- ② 場所            お城下町地域 上土・縄手・緑町(短時間を考慮して限定)
- ③ 概要  
                    あらかじめ決められたルートに沿って歩き、資源や課題について確認をし、そのうえで生徒なりの視点で新しい資源や課題を見つける
- ④ 方法  
                    通行人や不特定な人にはインタビューをせず、目視を主とする。但し、商店等で買い物等をして感染防止を徹底したうえで見学や話を聞く。また写真などを活用して記録する。
- ⑤ 事前準備  
                    大学教員が行う事前の講義については以下の内容が主となる。さらに高校の授業によってさらに計画を深める  
                            お城下町に関する説明  
                            地域の資源や課題とは何かなどの基本的な知識の説明  
                            実際に歩くルート等の設定とそこでの資源や課題に関する説明  
                            資源や課題をどう見つけるかに関する説明
- ⑥ 事後学習  
                    フィールドワークのまとめについては高校にて行い、その結果を街にフィードバックしてコメントやアドバイス等を得る。また各グループごとに模造紙に成果を整理し、えびす講などでその展示を行うとともに街歩きマップを作成し街歩きのきっかけとして配布する

地域人教育とは

「地域人教育」は、1年次に「地域を知る」、2年時に「地域に参加する」、3年時に「地域と協働する」として、1年次は地域に関して講義とフィールドワークを通じて学び、2年次は地域のイベントに参加して地域の人とのつながりをつくり、3年時に各地区でグループ活動を地域と連携して行うという流れとなっています。

これまでのフィールドワークの方法

松本におけるフィールドワークは、通常1年次の秋に行われる飯田市街地のフィールドワークに向けて、地域を歩いたり、地域の人とコミュニケーションをとる経験を積ませることを目的として毎年6月に実施され、街を自由に歩いて資源や課題を発見し、その結果を大学教員や地域の関係者の指導の下でグループワークでまとめるという内容となっています。